

# みんなの 町議会

広島県  
じんせきこうげんちょう  
神石高原町



油木中学校 1年生の仲間たち（体育祭）

第 35 号  
平成25年 7月15日

■ 6月補正予算	.....	3
■ あなたの声を町政に	.....	5
■ こんなことが決まったよ	...	10
■ 議員発議	.....	12

# 中学校建設へ

## 追加工事補正 2億4757万円

6月定例会は、6月10日から20日まで開かれました。平成25年度各会計補正予算や、神石高原町保育所条例の一部改正など3議案と神石高原町職員給与の特例に関する条例制定、工事請負契約の締結など11議案、議員発議3議案を含め、すべて原案の通り可決しました。明許費繰越計算書についての報告が2件と、第三セクターの経営状況5件の報告がありました。

一般質問では、11人の議員が当面する行政課題をただしました。

### 神石高原中学校 工事請負契約締結

#### 9億5072万円

#### 平成26年3月20日完成

神石高原町立中学校建設については、入札参加予定者がすべて辞退する異常事態が発生しましたが、東北震災により、資材および人件費の高騰などで工事費の見直しをやはり再度入札を行った結果、業者が決定しました。

また追加工事として、2億4757万円を補正しました。

校舎棟

鉄筋コンクリート

2階建て

寄宿舎

鉄筋コンクリート

3階建て

追加工事

クラブハウス棟

外構関係一式

再生木デッキ

コリドール

渡り廊下

フェンス



安全祈願祭

### 保育所の 運営を指定 管理者へ

#### 神石高原町立

#### 保育所条例の 一部改正

保育所の管理を町が指定した法人その他の団体に行わせることができる規定を設け、保育所の企画運営に関する業務や施設の維持管理に関する業務などの改正をしました。

本年度は、7月に指定管理者の募集を開始し、9月議会において審議する予定になっています。

公募する施設は、油木、豊松保育所です。今後、指定管理者の業者選定を慎重に検討することが重要です。



傍聴される女性会の皆さん

平成25年度  
一般会計  
6月補正予算  
4億2137万円

# 神石高原

## 平成25年 一般会計 補正予算

単位：万円(四捨五入)

費目	補正予算額	補正後予算額	主な内容
議会費	—	8688	
総務費	3730	14億5263	雇用対策基金事業2507 未来創造支援事業265
民生費	▲1653	17億6413	介護保険特別会計繰出金▲1393 後期高齢者特別会計繰出金▲69
衛生費	1640	9億8007	食育のまちづくり推進費10
農林水産費	5167	7億8614	有害鳥獣駆除対策事業107 農林産物販売促進施設管理費2230
商工費	551	1億0924	中小企業育成事業400
土木費	7348	6億1680	町道整備事業5700
消防費	17	4億2500	防災対策費17
教育費	2億4757	9億9185	統合中学校建設事業2億3412
災害復旧費	—	3	
公債費	—	17億4702	
諸支出金	580	6億7158	かがやきネット運営基金積立金191
予備費	—	4000	
合計	4億2137	96億7137	

一般会計の財源は、国庫支出金5822万円、県支出金5815万円、繰入金3354万円、繰越金1262万円、辺地対策事業債3690万円、過疎対策事業債6460万円、合併特例事業債1億5010万円など追加補正をし、諸収入366万円を減額補正をしました。

## 特別会計・病院事業会計 補正予算

単位：万円(四捨五入)

会計名	補正予算額	補正後予算額	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	923	11億6923
	診療施設勘定	0	400
	後期高齢者医療	487	4億1987
	介護保険事業 保険事業勘定	1804	19億1364
	介護サービス事業勘定	49	1549
	簡易水道事業	81	1億8741
	飲料水供給施設事業	100	3800
	農業集落排水事業	203	2億5203
	総合開発事業	0	4920
	分収育林事業	0	10
特別会計計	3647	40億4897	
病院事業会計	0	2億0180	
合計	3647	42億5077	



神石高原中学校建設予定地

# 補正予算・条例についての質疑

## 福祉課

**片山議員** 保育所指定管理のメリット・デメリットは。

**福祉課長** メリットは、保育ニーズへの迅速な対応、子育て支援の充実などに対する柔軟な人材と財源の活用が期待できる。

デメリットは、特に考えられないが、導入にあたっては、引き継ぎ期間を十分確保し、児童や保護者と交流を行う中で、相互の信頼関係の醸成に努める。

**松本議員** 保育所を指定管理で行うとの説明だが、どのように考えているか。  
**福祉課長** 保育延長や休日保育など保護者のニーズに応えるため指定管理で運営する。

**松本議員** 保護者や、町民への説明は。

**福祉課長** これから、保育所長会議など開いて具体的な事を決める。

**松本議員** メリットとして、サービスの向上と経費の節減が挙げられているが、具体的な効果は。

**福祉課長** 小回りが利き、民間のノウハウを活かした保育サービスができる。人件費も節約できる。

**橋本議員** 災害時要援護者台帳システムの導入内容は。

**福祉課長** 高齢者など災害発生時に一人で避難することが、困難な災害時要援護者については、「誰が、誰を、どこに、どのように」避難支援するかを具体的に定める計画だ。

## 産業課

**横尾議員** 有害鳥獣駆除対策の中でサル用据置式捕獲柵罠に予算化がされているが、発信機(若いメスザルに取り付け居場所を把握し、追い払いを行うもの)などの予算は組まれているのか。

**産業課長** 組んでいない。捕獲したサルは殺処分する予定。発信機はサルが捕獲できることが確認できれば、補正予算を組みたい。



百彩館 マルシェ

## 平成24年度 第三セクター販売状況

単位：万円(四捨五入)

会社名	売上	当期利益	施設管理料等	運営補助等
(株)神石高原農業公社	7428	191		2027
(株)帝釈峡スコラ	8465	▲422	883	
(有)直売公社 まるごと市場	2億3252	130		500
(有)油木特産販売 百彩館	7606	11	18	273
(有)さんわ182ステーション	4億4701	290	359	

### ○農業公社

売上約9%減。各事業別では、トマト工房製品の販路拡大により前年対比47%の増。また、正社員を1名採用し、年間を通して受託作業も可能。

### ○帝釈峡スコラ

売上約1%減。イセキ農機具の大展示会が中止となり大幅な売上の減。そば打ち強化講座は「スコラ高原のそば講座」として好評。またブランドゴルフパックが好調。さらに神石高原マルシェにて「カルピ井」がグランプリ。

### ○まるごと市場

売上約1%減。不採算部門の店外販売(14%減)をやめ、店舗販売(10%増)に切り替えたため店舗売上が増。

### ○百彩館

売上・来客数約9%減。生産者の高齢化により出荷量の減少や品揃えの不足が起きている。12月から7月までは慢性的な品不足。食堂は「蕎庵」が今年1月をもって撤退。

### ○182ステーション

売上ではローソンが1年を通じた売上などがあり、約11%の増。年間の来客数は約47万人で前年度より約9万人の増。レストラン「高原の風」の来客数と合わせると約13万人の増。

**問** 三セクの決算内容は

横尾 正文 議員



**答** さんわ182以外は厳しい

**Q** 第三セクターの決算の内赤字業者の今後の対策は。また対策として民間委託や店舗移転の考えは。

**A** 町長 決算概要は次の通り。  
〔油木百彩館〕  
売上約7600万円  
(対前年比9%減)、町補助金を入れて11万円の黒字、今後の対策は米粉の販売強化。  
また条件が整い株主の

同意があれば民間委託も視野に。  
〔まるごと市場〕  
売上約2億3200万円(対前年比1%減)、町補助金を入れて129万円の黒字。  
また早期に店舗移転を検討したい。  
〔182ステーション〕  
売上約4億4700万円(対前年比11%増)、約289万円の黒字。  
〔帝釈峡スコラ〕

**Q** 補助団体や委託団体の実績の調査をして、把握ができていますか。またこの結果によって来年度予算にどう反映させるのか。

**A** 町長 毎月の実績報告は義務づけ、報告書に不備が

なければ委託料などの支払いはしている。  
来年度予算への反映は統合できるものは統合し、指定管理できるものは行う。  
また環境衛生関係においては年間を通しての実績と発注仕様書との比較ができていないので全て厳格に精査する。  
そして実績と相違する場合は、見直し委託料の変更をしたい。

**Q** 実績の把握の進捗状況を9月定例会で再度質問したいが、調査結果が提出できるか。

**A** 町長 9月定例会には調査結果を発表するように指示をする。

協働による新しい住民自治のかたちを作りたい。

**問** 自治力向上の推進は

妹尾 幸太郎 議員



**答** 自治振興会の役割、あり方などを検討

**Q** 住民自治向上には地方分権の推進が必要では。

**A** 町長 分権を推進し、自治力の向上を図り、国と地方の役割分担を明確にし、元気な日本を取り戻すべきである。

**Q** 分権推進を急ぐべきでは。

**A** 町長 早急な課題であり、



交流田植えの昼食の準備をしている色彩倶楽部のメンバー

道州制や広域県構想の動きを注視し推進を図る。

**Q** 県からの権限移譲は課題も多いのでは。

**A** 町長 旅券事務など利便性が向上しているものもあるが、町の場合、兼務業務となり職員の負担になっている。財源確保など県と協議したい。

**Q** 住民自治の推進には自治振興会の育成強化が重要では。

**A** 町長 支所、自治振興会のあり方、役割、規模などが重要なポイント。

**Q** 自治振興会は地域の基本となる自治組織であり、あえてコーディネイト役を町が担っては。

**A** 町長 協働のまちづくりに必要である。現在、副町長をトップにチームを設け検討させている。

**Q** 自治振興会は地域の基本となる自治組織であり、あえてコーディネイト役を町が担っては。

**A** 町長 方向を示し、舵を取るのには行政の役割。議会、自治振興連絡協議会と連携しながら議論したい。議員提案の①育成強化の方針②活動範囲の目安③規模④支所との連携体制など議論の柱としたい。

あなたの声を町政に

質問時間は、答弁を合わせて一人二時間以内で一問一答方式

**問** 調理室を併設すべきでは

久保田 龍泉 議員



**答** 豊松調理場からの配送が決定

**Q** 神石高原中学校の給食は、豊松共同調理場から配送されるが、運搬には時間がかかり、調理したものに問題が出てくる。中学校新設に伴い調理室を併設すべきでは。

**A** 教育長  
神石高原町立統合中学校建設委員会で豊松調理場から配送が決定。将来的には調理場をどうするか全体の学校をみて検討したい。

**Q** 通学バスへの乗車時間、神石地区の相渡・永野・古川の生徒は遠回りし最長で50分かかり大変な負担だ。コースの見直しをすべきだ。

**A** 教育長  
建設委員会で検討した長距離の生徒のため寄宿舎を設置した。入寮希望があればコースが変更できる。冬場はそれ以上かかるので、運行委員会を設置しコースが短縮できるよう考えたい。

**Q** 入寮希望が多い場合抽選され決定されるが、長距離の生徒を優先して入寮させるべきではないか。

**A** 教育長  
寮設置の目的が通学時間の長時間化を解消し、学習やクラブ活動の充実をすることであり、長距離の子供を優先し入寮するよう考えている。

**Q** 跡地活用の地元の声はどう反映するか。

**A** 教育長  
豊松、油木地区は自治振興会で組織を作った。神石地区は福永にあるので地元で考えてもらったかどうか。多かつたのは保育所であった。どこまで行政に取り入れもらえるのかという意見もあった。

**Q** 地元へ投げかけても行政がどこまで取り入れるか問題だ。官民の検討委員会の設置をすべきだ。

**A** 教育長  
時間的な余裕がなく、旧三和小学校の場合、地元へ投げかけたので、今回も前例に従いたい。

**問** 活動困難な地域への対策は

橋本 輝久 議員



**答** 集落支援員の配置

**Q** 31自治振興会はそれぞれ規模が違い、活動に差がある。過疎・高齢化で事業実施が困難な自治振興会がある。協働といっても地域を中心に広がっていかれば良いが限界を感じる。今後行政としてどう対策を講じるのか。

**A** 町長  
自治振興会は、抱えている課題もそれぞれである。活動自体が困難な地域が将来どうあるべきか行

政とともに議論し方向性を見出す必要があり、集落支援員を配置し地域づくり計画の策定などに取り組む。

**Q** 自治振興会は、補完機能をもつ組織であるが、31自治振興会の今後10年、20年の中でその活動ができないことも起こり得る。地域の崩壊が懸念される。公と民の役割分担を明確にし、新しい体制が必要では。

**A** 町長  
協働のまちづくりを進めるうえで、誰が、どの活動・取り組みを担うかという点だ。



豊松地区運動会

支所のあり方、役割も含め、自治振興会とどう連携できるか、補完できる取り組みは何かなど議論する庁内委員会を設置した。早期に方向を示したい。

**Q** 野猿被害への対策は。

**A** 町長  
本年度、追い払い用火火への支援を行っている。今後、メスザルを捕獲し発信器をつけ、生息調査も行いたい。また、据え置き型の捕獲柵の購入も検討している。

**Q** 飲料水確保について住民個々に対する支援体制は。

**A** 町長  
ボーリングや小規模施設改修などの補助制度がある。水源が確保できず、役場で簡易水道水を有料で配給するような設備を検討したい。

**問** 未来創造計画の実現性と対策は

丸山 達夫 議員



**答** 社会状況の変化によるが努力する

**Q** 平成24年度の未来創造支援事業では、今後10年間全体事業費として7億1000万円余りが、25年度説明では、28年度までの9000万円余りとなっている。  
**未来創造計画**には、10年間で事業費7億1000万円余りの計上がある。  
 理想の高い計画であるが、具体性、現実性に欠けている。  
**実行の可能性と、今後の推進指導、また財政支**

**A** **町長** 28年度までは9000万円としている。7億1000万円は、10年計画であり未来創造計画は、よりハードルの高い理想計画であり、実現に向け努力する。  
 そのためトマト団地構想、神石牛認証基準づくりを行い、ブドウと合わせた赤と黒のプロジェクト推進と産直市場の活性化の検討を行い、神石高原の農産物販売に努力す

**Q** 和牛認証化制度により、神石牛として誇りと夢を持ち、生産者に飼育していただくことが必要ではないか。  
**A** **まちづくり推進課長** 神石牛ブランド化に対して、広島県としては

新規就農者の活用、ネット販売なども考えている。  
 社会状況の変化や補助事業動向などを見ながら計画の実現に努力する。  
 和牛に限らず、県産物に対して認証基準制度を設ける計画がある。  
 そのもとで神石牛復活を考え、さらに販売店と協力し、神石牛として販売力もあげていきたい。  
 基準は今後の課題である。



最盛期を迎えるブドウ栽培

**問** 大気汚染防止にどう取り組む

寄定 秀幸 議員



**答** 国（環境省）に相談し対応したい

**Q** 大矢の産業廃棄物処理施設と炭焼き事業者からの大量の煙と臭気が深刻な状況である。  
**本町の自然環境と産業・観光振興、農産物への悪影響や風評被害が懸念される。ダイオキシン検出から操業開始までの経緯と対応は。**  
**A** **町長** 3月5日、県の検査でダイオキシンが基準値を超えて検出されたので操業停止し、その後改善したので操業再開した。

**Q** 炭焼き事業者からの大量の煙が産廃施設を埋め尽くすなど、環境や健康への影響が心配である。環境保全条例の制定などで厳しく規制すべきではないか。  
**A** **町長** 環境保全条例制定での規制は原則的に賛成であるが、まず県の指導をうけ、県がだめなら国へ相談するなどの対応を考えた。

**Q** 疾病予防は医療費削減のみならず、「命と健康を守る」重要な取り組みである。疾病予防に対する基本的考えは。  
**A** **町長** 予防接種もさることながら、行政の保健指導や健康な体力作り、本人の運動や食事、休息などが有機的に機能して初めて疾病予防に繋がる。



**Q** 風疹予防対策を早急に実施すべきでは。

**A** **町長** 国や県の動向を見極めて対応したい。

産業廃棄施設からの煙

**問** 農家所得の向上対策は千載一遇を生かせるか

村上 克朗 議員



**答** 今すぐどうこうではない

**A** 町長  
若者の基盤作り、トマト団地の具現化、神石牛のブランド化などへの担い手確保に大型農業ができない所を施設園芸

**Q**  
耕作放棄地や小規模農地に税金を投入して集約大規模化する「農地中間管理機構」が設置され、農地の貸し手・受け手に負担は求めないで、機構が自ら大区画化や暗渠整備などを進め、基盤整備後に貸し出す。町の対応は。

**A** 町長  
10年間にどれだけ残れるかが問題であるが、引き続き対応していきたい。

**Q**  
多面的機能保全に農地や水保全管理支払交付金・野生鳥獣被害対策を盛り込んだ創設の要求を。

**A** 町長  
本町でも構想を作成しているが、トマト残渣の堆肥化だけで、他の計画は費用対効果が難しい。

**Q**  
国はバイオマスの達成目標で①農村活性化へ600市町村に取組み効果の課題解決へ技術情報の提供などで発現を図る②産業創出に農村の6次産業化などによるバイオマス製品などを供給する事業へ5千億円規模の新産業創設などへの補助に対して町の考えは。

**A** 町長  
手続きが必要である。雇用は図れるが、採算が合わないなど課題もあり、継続して検討する。

**Q**  
食物残渣の堆肥化、林地残材の有効活用に関伐材を安定的に供給するために回収・搬出に係るコストをどうげん通貨で考えては。

**A** 町長  
国が給与減額措置を強制しているが、東日本大震災への支援で一般職は平均3.5%、特別職は7%で期間はH25年7月～H26年3月まで、総額で2353万円の削減。

**Q**  
国家公務員の7.8%の給与削減に対し、本町の対応は。

**問** 図書館の充実と有効活用を

松本 彰夫 議員



**答** 豊富な図書利用が可能

**Q**  
有効に利用するため、まなびや読書ができ、パソコンの利用で

**A** 教育長  
本町では読書を通して「教養の町づくり」を進めている。中学校の教育・読書の向上、学習の場としてのどのように活用するのか。

**Q**  
図書館に、家庭教育支援センター、子育て支援センターが併設されている。狭い図書館に設置するのが適当か。

**A** 教育長  
図書館にそのような設備とスペースが確保できたら、学習環境は整うと思うので、利用状況を踏まえ総合的に検討する。



シルトピアカレッジ図書館

**Q**  
学校には図書館の専門的な職務をとらせるため、司書教諭を置くように定めてあるが、本町での配置状況と、活動内容は。

**A** 教育長  
司書教諭の配置がないのは、小学校2校のみで、配置がされていなくても、全ての学校に読書担当を決めている。ミニ図書館の設置や本の紹介コーナーの設置など、「読書に関する環境づくり」に努めている。

**A** 教育長  
町立図書館の職員も少ないので、現状では派遣するのは難しいが検討する。

**Q**  
司書教諭も兼任なので、町立図書館の司書を、昼休みや放課後に学校に派遣し、生徒に指導してはどうか。

効果としては、読みたい本が探しやすいなりに、読書冊数が増えている。

**問** いじめや教職員の  
不祥事対策は

赤木 俊二 議員



**答** アンケートや研修で取り組んでいる

**Q** 児童生徒間のいじめや教職員のセクシャルハラスメント、体罰による不祥事に関してそのようなことが起こらないよう、こういった対応が取られているのか確認したい。県の教育委員会からの指導により行うものがメインであろうが、神石高原町独自で防止の取り組みは。

**A** 教育長  
小さな事象のうちに早期に指導体制を整えるよう指導している。

町独自の取り組みとしては校長研修会での現状把握や、学校教育課の職員が月1回は学校を巡回し、状況把握に努めている。

「いじめ体罰セクハラ窓口」を設置し児童生徒・保護者に対して周知徹底を図るとともに、学期に一度児童生徒へのアンケート調査を実施し必要に応じて面談を行っている。また教職員の意識に対するアンケートも行っている。



神石小学校運動会

**Q** 県教委からいろいろと通達が出ているが、神石高原町として以前と状況はどう変わっていったのか、適切に対応しているか。

**A** 教育長  
本町は不祥事防止委員会や不祥事防止対策協議会を立ち上げ、体罰防止の研究や資料分析などを行っている。

今後の課題として研修のあり方に問題があるかもしれないが、教職員の意識としては高まってき

**Q** いじめられてもそれに耐えることのできる子供を作るプログラムはないか。

**A** 教育長  
良好な友達関係をつくる訓練、自己主張の訓練、自己表現の訓練などがある。授業でも自己肯定感を持ち、対人関係を学び作れるよう指導している。

**問** 町立病院の存続は

片山 元八郎 議員



**答** 公設民営としたい

**Q** 来年3月末、陽正会と指定管理契約が切れるが。

**A** 町長  
第1回「町立病院協議会」を開催し、医療機能などについて先日諮問した。

**Q** 町立病院を守る会長として委嘱されたが、当日は公務出張のため欠席。開催が遅いのではないか。

**A** 町長  
私も欠席。遅いとは思わない。

**Q** 私が考える存続の選択肢は①県立病院とする。②町の直営。③独立行政法人化。④これまでどおり、公設民営で6月中に全国から公募する。

**A** 町長  
県への返還を除き3つにしばり検討したが、公設民営としたい。

本日、第2回町立病院協議会の開催をお願いしている。委員8名全員の意見を聞いて判断したい。

**Q** 5代将軍「生類憐みの令」神石高原町版の犬・猫の避妊手術助成はおかしい。ペット飼育は、飼い主の全責任で税金投入はやめるべき。

**A** 町長  
犬・猫の殺処分ゼロを掲げ、NPOに委託し捨て犬防止が主目的だ。

**Q** 新規事業も大切だが、地元にくく住む人間のこともっと考えるべきでは。

4月12日付けの新聞の「被災者移住を見て私に

電話の抗議があったが。

**A** 町長  
誤解があるようだ。わが町は合併以来全国に先駆け、各種住民福祉の単町事業に力を入れている。

**Q** 憲法で保障された居住の自由は否定しないが役場職員の町外居住者に違和感を覚える。

私は、先般本町で講演された山梨県早川町のNPO法人、「上流文化圏」の鞍打氏を訪ね、町内を案内して頂いた。

現在七戸。小さな神社あり。今年、何十年ぶりかで神輿が出た。

東京などに住む出身者が帰って神輿を担ぎ、自治振興会の役員も引き受ける。本町役場職員も町おこしの先頭に立つべきでは。

**A** 町長  
職員の町内在住への願いはある。職員採用で、地元在住者と成績優秀者のどちらを優先すべきか苦慮している。

# 条例制定・改正 こんなことが 決まったよ

全案採決

## 条例改正など

- ・ 神石高原保育所の条例  
「効果的な運営を図るため、指定管理者に行うことができる改正」
- ・ 神石高原町消防職員用待機宿舎設置および管理条例  
「福山市消防組合管理者から待機宿舎を譲渡されたことによる改正」

## 条例制定

- ・ 神石高原特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費の特例に関する条例
- ・ 神石高原町教育委員会の給与、勤務時間その他の勤務条件の特例に関する条例
- ・ 神石高原町職員の給与の特例に関する制定  
「東日本復興支援を支援するため、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの9ヶ月間減額措置を行う」

## 工事請負契約の締結

- 工事業名 平成24年度統合中学校建設事業  
神石高原町立統合中学校校舎等新築工事業  
請負者 鈴木工務店・村上建設共同企業体  
請負金額 9億5072万7750円
- 工事業名 神石小学校旧校舎解体工事業  
請負者 株式会社 後藤組  
請負金額 4897万2000円から  
5951万4000円に変更

## 保育所指定管理についての意見 賛成討論

近年、延長保育や休日保育などの保育ニーズの多様化に対応した施策が求められる。  
現在の保育サービスを維持しながら効果的に効率的な保育所運営をするためには、指定管理者制度もやむを得ない措置だ。  
町の財政状況も年々きびしくなり、最小の予算で最大の効果をも求めていくものだ。  
保育サービスが低下しないよう慎重に取り組むよう申し添え賛成する。

## 問 病児保育の環境整備は



横山 素子 議員

## 答 小児医療体制の構築を含め 前向きに研究

**Q** 病気の子供を預かってくれる所があれば、共働きの方でも安心して子育てができる。そのためにも、病児保育という環境があればいいのでは。

**A** 町長  
病児保育は体調に不安がある児童を預かる以上、万一の急変に備え「医療機関併設型」が望ましいと思う。常勤の看護師と保育士の確保、季節・流行などによる利用変動や専用スペースの確保など課題が多い。今後、町内小児医療体制の構築も併せて研究・検討したい。

**Q** 病児保育環境整備が今すぐに無理ならば、せめて町立病院の小児科設置に早急に取り組んだらどうか。  
来年、町立病院の指定管理の更新の時期が来ているが、小児科設置についても強く要望するが考えを伺う。

**A** 町長  
小児科設置はひとつ

**Q** 働きたい人が安心して働き続ける事ができるように子育て環境を構築していく事、また、子育てで仕事をあきらめなくてもいい社会、子育てを社会全体で見守る事ができる社会を実現できるように取り組んで頂きたい。

**A** 町長  
前向きに検討する。



小野運動会に参加した子どもたち

# 総務 文教常任委員会

## 報告

町は、油木、豊松保育所を、平成26年4月から指定管理者へ業務委託する方向です。

保育所運営を指定管理者に任せることに、非常に不安を覚えます。

保育所の指定管理者などの研修を行いました。

### 研修月日

6月19日

### 研修場所

庄原市立東城保育所・ありすの森

### 経営主体

・ 社会福祉法人  
東城有栖会

### 保育所概要

・ 開設年月日  
平成18年4月1日  
・ 保育年齢  
生後6ヶ月から就学前  
・ 定員 170人

### 経営理念

・ ぬくもりのある安心感の持てる環境の中で、専門性を有した職員が保育する。

・ 保育者の深い愛情のもと、養護と教育を一体とした保育を受ける中で、遊び、生活し心身の健やかな成長発達が図られるよう努める。  
・ 家庭と密接な連携のもとに保護者の意向を的確に把握し支援する。

### 保育方針

・ 子どもの人権、人間としての尊厳を大切にし、一人の独立した人格としてその主体性を尊重し、育む保育をする。  
・ 子どもの最善の利益を考慮しながら心身健やかな育ちを目標に

「今」を大切に保  
育をする。

### 職員編成

・ 所長  
副所長  
主任保育士  
保育士  
看護師  
管理栄養士  
調理員  
事務員  
嘱託医（内科・歯科）

### 保育時間

・ 7時30分から  
19時30分（早朝・延長  
保育含む）

### 休日

・ 日曜日・祝祭日・年末  
年始



保育所視察

# 産業 建設常任委員会

## 報告

6月定例会に、第三セクターの決算報告が提出された三つの産直市場の現地調査を行いました。

### 調査月日

6月19日

### 調査場所

・ 福山のまるごと市場  
・ 三和の182ステー  
ション  
・ 油木の百彩館

### 調査内容

・ 担当課による各店舗の現況説明  
・ 現地にて店舗責任者に現状の説明と今後の課題  
・ 質疑応答と委員による提案



182ステーション

### 今後の課題

各店舗からの意見の聴取を行ない、今後委員会報告に向け店舗の拡張、賃料の提言、農家指導、責任者の確保、米粉の販売強化などの提言を行う。

# 議員発議

全会一致

## ・神石高原町議会の議員報酬及び費用弁償の特例に関する条例の制定

議員に支給する平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間における報酬の月額を、議長1万円その他の議員5千円を減額。

### 提案理由

国は、「厳しい財政状況」および「東日本大震災」に対処するため、国家公務員の給与を平均7.8%削減し、地方公共団体に対しても同様の措置を求めてきた。町長をはじめ職員も含め苦渋の判断で、常勤の特別職、職員の給与削減を提案され可決した。議会としても東日本大震災の復興を願うとともに、交付税削減のしわよせを町民の皆様にも及ぼさないよう、全会一致で可決をお願いしたい。

## ・教育予算の拡充・義務教育費国庫負担制度

### 2分の1復元を求める意見書

1. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1に復元すること。
  2. 学校施設整備、就学援助・奨学金など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
- 提出先 内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

## ・地方財源の充実・強化を求める意見書

1. 地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては、国が一方的に決めるのではなく、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定すること。
2. 地方交付税の財源保証機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化、市町村合併の算定特別の終了を踏まえた新たな財政需要の把握について対策を講じること。

提出先 内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・内閣府特命大臣

# 追跡 ありゃあどうなったん？ 「一円玉募金」の活動

昨年「みんなの議会第31号」7月号の特集記事「一円玉募金で支え愛」という記事を掲載しました。あれから1年たちその後の活動を追ってみました。

神石高原町内の各学校において「善意の一円玉募金」の活動が取り組まれています。この運動を通じて、東日本の救援と小・中学校生に助け合い精神を植え付けることなど人間的教育効果が期待されています。

また、逸見博志さんを代表とする《神石高原町一円玉募金の会》も設立され、町内外において精力的に募金活動を展開され、東日本大震災の被災地に赤十字を通して、義金を届けられています。

現在も継続し募金活動されておられることに、敬意を表すものであります。

7月中旬には、ホームページを開設予定です。ぜひご覧ください。



逸見代表に一円玉を手渡す油木小生(昨年)

# 議会報告会を開催

**ご意見・提案を議会活動に生かします。**

5月13日から4日間、町内各地区4か所で町議会の報告会を開催しました。

この報告会は、町議会基本条例に基づいたもので、今回が第1回で初めての開催でした。

議員から①議会基本条例の概要説明②定住に関する施策と課題③農業振興施策と課題について説明を行い、その後、出席者の皆さんから質問、提案を伺い意見交換を行いました。

現在、議会内で整理を進めており、可能な限り議会活動に生かしてまいります。

また、はじめての取り組みであり不十分な点多々ありましたが、今後改善を加えながら充実した報告会にしたいと考えています。



議会報告会



要請活動

## 地元選出国會議員へ要請活動を実施しました。

木野山町議会議長以下全議員は牧野町長と国会議員会館を訪問し、亀井静香、小島敏文、斉藤鉄夫衆議院議員、溝手顕正、宮沢洋一、柳田稔、佐藤公治参議院議員にそれぞれ要請活動を行いました。

要請の内容は①国道182号の油木、井関、坂瀬川工区の整備促進②高齢化や行政の広域化を踏まえた地方交付税の充実を強く要請しました。

また、横浜などとみらい21地区、築地中央卸売市場、広島県アンテナショップ「TAU」の視察を行いました。

# まちの声

多数のご意見ありがとうございました。ご意見にお答えします。

○みんなの町議会を読ませて頂いてボケ予防に役立たせております。

議員さん、頑張ってください。

(89才 女性)

○みなさんに読みやすい広報誌を目指して頑張ります。

○中学校の廃校で地域はきびしくなります。跡地の活用に関心をもっています。

(78才 女性)

○跡地利用については、当該地域において検討委員会が設置されるそうです。ご意見がありましたらお願いします。

○議会広報第34号での一般質問の議員氏名に上半身の写真を掲載されており、開かれた議会活動の趣旨に沿うもので好印象を受けています。

(83才 男性)

○開かれた議会活動には、これからも力を入れて行きたいと思っています。

○議会広報を読んで私自身知らない事が多いのですが、いろいろ教えてもらえてうれしです。私も油木や神石高原の事を知り、何かできないかと思う事にします。

(55才 女性)

○もっとわかりやすい広報誌として精進していきます。

○町立病院駐車場、自転車置き場を考えてあの位置を駐車場にしたり、透析を受けられる方の駐車場も近い所へ位置されては、いかがと思います。

(女性)

○駐車場の配置について利用状況を調査してみたいと思います。

## 第17回 議会クイズ 当選者

神石地区 池田ヤチヨさん  
二和地区 重松 巖さん  
油木地区 釜足 京子さん

油木地区 川上サカエさん  
二和地区 瀬尾 ヨリさん

# 元気なグループ紹介だよ



## JKB 広島県軟式野球連盟 少年部 神石高原野球クラブ

JKB（神石高原野球）クラブは、広島県軟式野球連盟少年部に所属している中学軟式野球のクラブチームです。

現在3年生9人、2年生8人、1年生11人合わせて総勢28人で活動しています。

これまでに、広島県大会において、準優勝が2度あり、その他の大会にも好成績を収めています。野球が大好きな子どもたちが、憧れや、大きな夢をもって中学での野球に取り組んでいます。

野球を通して、未来ある子どもたちに「生きる力」を身に着け、人間として「強く生きる」・「豊かな人生を送る」ことを目的として、心身ともに鍛錬し成長できるよう、日々指導しています。また「明日が楽しみ」・「早く野球がしたい」など、一途に野球に打ち込む姿勢と、楽しければ自然と上達していくものだと考え指導しています。

小島中央グラウンドで毎週土、日、祝日に練習および試合を行っています。いつでも見学できますので、お待ちしております。

夢は全国大会で頂点を目指すことです。神石高原町の皆さんに応援していただけるチームとして頑張っていきたいと思っていますので、応援よろしくをお願いします。

監督 重政小次郎

## 第18回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

①神石高原町職員〇〇の特例に関する条例制定

②一般質問 図書館の〇〇と有効活用

③一般質問 〇〇支援員の配置

④議会〇〇〇〇の開催

⑤元気なグループ紹介 J〇〇

神石高原町野球クラブ

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

### 《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、5人の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》〒720-1522

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局 「第18回議会クイズ係宛」

《締め切り》8月12日（月）消印有効

《個人情報取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

## 議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は9月です

日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビ放送します

## 編集後記

先日、八鳥班の「百合まつり」にでかけました。当日は梅雨の合間の好天でした。初めは川上正己さん夫婦が手入れを行っておられたのが今では集落の行事として定着し、遠くは広島方面からのリピーターも訪れるようです。

ヤマユリ・ササユリは種子から花が咲くまでには5年もかかりますし、手入れのされた野原でないと咲きません。これからも川上さん手づくりのポン菓子を食べながら「百合まつり」を楽しみたい。（幸太）

### 議会広報常任委員会

- 委員長 橋本 輝久
- 副委員長 横尾 正文
- 委員 妹尾幸太郎
- 委員 横山 素子
- 委員 赤木 俊二

■住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340

FAX 0847-85-4201